

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
320233	X-21-B-2-320233			【1・2年次生】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1・3年次生】経営情報学部経営学科 【1・3年次生】経営情報学部情報システム学科 【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース 【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門 専門 専門 × × × ×	選択必修 選択必修 選択 × × × ×	2年 2年 2年 × × × ×
授業科目	担当教員	1	前期				
中国語3aA	尹 美蓮						

授業目的

中国語の基礎文法をすでに習得したことを前提とし、入門・初級レベルで習得した学習ポイントをおさらいしながら、準中級レベルの学習ポイントの習得を目指す。補語、副詞、介詞、接続詞などの学習・復習を通して、作文練習や会話練習をくり返し、適切な表現力を着実に身につけることを実現し、コミュニケーション能力の更なる向上を目指す。中国語でのコミュニケーションから中国への興味や関心が深まることを期待する。

各回の授業内容

第1回	【授】 基礎文法おさらい（一） 【前・後】 必ず予習・復習すること。【予習2時間】新出単語を音読しておく。文法ポイントを予習しておく。【復習2時間】既習した単語、例文、本文をピンイン付きで書く練習をすること。付属CDを活用し、単語、例文、本文をくり返し音読すること。	第9回	【授】 第4課 中国に行く予定である（一）：新出単語やポイントの学習 【前・後】 必ず予習・復習すること。【予習2時間】新出単語を音読しておく。文法ポイントを予習ておく。【復習2時間】既習した単語、例文、本文をピンイン付きで書く練習をすること。付属CDを活用し、単語、例文、本文をくり返し音読すること。
第2回	【授】 基礎文法おさらい（二） 【前・後】 必ず予習・復習すること。【予習2時間】新出単語を音読しておく。文法ポイントを予習しておく。【復習2時間】既習した単語、例文、本文をピンイン付きで書く練習をすること。付属CDを活用し、単語、例文、本文をくり返し音読すること。	第10回	【授】 第4課 中国に行く予定である：練習 【前・後】 必ず予習・復習すること。【予習2時間】新出単語を音読しておく。文法ポイントを予習しておく。【復習2時間】既習した単語、例文、本文をピンイン付きで書く練習をすること。付属CDを活用し、単語、例文、本文をくり返し音読すること。
第3回	【授】 第1課 自己紹介（一）：新出単語やポイントの学習 【前・後】 必ず予習・復習すること。【予習2時間】新出単語を音読しておく。文法ポイントを予習しておく。【復習2時間】既習した単語、例文、本文をピンイン付きで書く練習をすること。付属CDを活用し、単語、例文、本文をくり返し音読すること。	第11回	【授】 第5課 飛行機に乗る（一）：新出単語やポイントの学習 【前・後】 必ず予習・復習すること。【予習2時間】新出単語を音読しておく。文法ポイントを予習しておく。【復習2時間】既習した単語、例文、本文をピンイン付きで書く練習をすること。付属CDを活用し、単語、例文、本文をくり返し音読すること。
第4回	【授】 第1課 自己紹介（二）：練習 【前・後】 必ず予習・復習すること。【予習2時間】新出単語を音読しておく。文法ポイントを予習しておく。【復習2時間】既習した単語、例文、本文をピンイン付きで書く練習をすること。付属CDを活用し、単語、例文、本文をくり返し音読すること。	第12回	【授】 第5課 飛行機に乗る：練習 【前・後】 必ず予習・復習すること。【予習2時間】新出単語を音読しておく。文法ポイントを予習しておく。【復習2時間】既習した単語、例文、本文をピンイン付きで書く練習をすること。付属CDを活用し、単語、例文、本文をくり返し音読すること。
第5回	【授】 第2課 私の大学生活（一）：新出単語やポイントの学習 【前・後】 必ず予習・復習すること。【予習2時間】新出単語を音読しておく。文法ポイントを予習しておく。【復習2時間】既習した単語、例文、本文をピンイン付きで書く練習をすること。付属CDを活用し、単語、例文、本文をくり返し音読すること。	第13回	【授】 第6課 宿泊の手続きをする（一）：新出単語やポイントの学習 【前・後】 必ず予習・復習すること。【予習2時間】新出単語を音読しておく。文法ポイントを予習しておく。【復習2時間】既習した単語、例文、本文をピンイン付きで書く練習をすること。付属CDを活用し、単語、例文、本文をくり返し音読すること。
第6回	【授】 第2課 私の大学生活（二）：練習 【前・後】 必ず予習・復習すること。【予習2時間】新出単語を音読しておく。文法ポイントを予習しておく。【復習2時間】既習した単語、例文、本文をピンイン付きで書く練習をすること。付属CDを活用し、単語、例文、本文をくり返し音読すること。	第14回	【授】 第6課 宿泊の手続きをする：練習 【前・後】 必ず予習・復習すること。【予習2時間】新出単語を音読しておく。文法ポイントを予習しておく。【復習2時間】既習した単語、例文、本文をピンイン付きで書く練習をすること。付属CDを活用し、単語、例文、本文をくり返し音読すること。
第7回	【授】 第3課 会う約束（一）：新出単語やポイントの学習 【前・後】 必ず予習・復習すること。【予習2時間】新出単語を音読しておく。文法ポイントを予習しておく。【復習2時間】既習した単語、例文、本文をピンイン付きで書く練習をすること。付属CDを活用し、単語、例文、本文をくり返し音読すること。	第15回	【授】 課題：作文 漢字 200～250字程度 【前・後】 授業の代わりに課題を提出していただけ。作文のテーマ、提出期限及び方法等に関しては、第14回目の授業にて明示。
第8回	【授】 第3課 会う約束（二）：練習 【前・後】 必ず予習・復習すること。【予習2時間】新出単語を音読しておく。文法ポイントを予習しておく。【復習2時間】既習した単語、例文、本文をピンイン付きで書く練習をすること。付属CDを活用し、単語、例文、本文をくり返し音読すること。	第16回	【授】 期末試験 【前・後】 【復習2時間以上】主として教科書の内容から出題する。

成績評価方法

【成績評価】期末試験 30%、授業への取り組み（予習・復習状況、授業態度など）40%、授業参加状況 30%を合わせて総合的に評価する。
【フィードバックの方法】試験後に模範解答を配布し、その場で答え合わせを行う。最終点数はポータルサイトにて、発表する。

教科書・参考書

『温故知新！中国語』虞萍著/朝日出版社/2019年

受講に当たっての留意事項

必ず予習・復習をすること。不明点は隨時積極的に質問をして解決すること。履修する学生の実際のレベルに合わせ、適宜授業の進み方や内容を変更する場合がある。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
×		○

学習到達目標

教科書の本文・例文を読む・訳すことだけでなく、中国語で内容を理解し、適切に把握する。課題（作文など）の発表やグループワーク（場面設定の会話練習など）を取り入れ、学んだポイントや表現をしっかりと身に付け、自分の考えを伝えることができる「使える」中国語を目指す。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
320233	X-21-B-2-320233			【1・2年次生】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1・3年次生】経営情報学部経営学科 【1・3年次生】経営情報学部情報システム学科 【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース 【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門 専門 専門 × × × ×	選択必修 選択必修 選択 × × × ×	2年 2年 2年 × × × ×
授業科目	担当教員	1	前期				
中国語 3 aB	寺沢 一俊						

授業目的

高度な語学運用能力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会なる多文化情況にあってポジティブに協調的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につける。

中国においては近年めざましい経済発展を遂げ、世界の国々に対して大きな影響力をを持つに至った。中国語を使える人材にも正確かつ即応性のあるコミュニケーション能力が強く求められるようになった。ここでは主として中国語文章で多用される複文構造について学び、より複雑化した表現方法を修得する。テキスト課文は繰り返し音読して内容を中国語で理解し、その内容について中国語による発表や質疑応答練習をする。これにより中国語運用能力の向上を目指したい。また使用頻度の高い構文及び補語・能願動詞・副詞・介詞・接続詞などの用法を習得させたい。

各回の授業内容

第1回	【授】 第一課「中国語を選択履修する」(1) 【前・後】 【予習復習に必要な時間: 2時間以上】予習をする際には先ずテキスト本文のCD録音を聞いて、音読をしてから意味を考えること。復習では音読を繰り返して内容を理解し、暗誦すること。暗誦した文はピンイン符号と漢字で書けるよう練習すること。	第9回	【授】 第五課「アルバイト」(1) 【前・後】 【予習復習に必要な時間: 2時間以上】予習をする際には先ずテキスト本文のCD録音を聞いて、音読をしてから意味を考えること。復習では音読を繰り返して内容を理解し、暗誦すること。暗誦した文はピンイン符号と漢字で書けるよう練習すること。
第2回	【授】 第一課「中国語を選択履修する」(2) 【前・後】 【予習復習に必要な時間: 2時間以上】予習をする際には先ずテキスト本文のCD録音を聞いて、音読をしてから意味を考えること。復習では音読を繰り返して内容を理解し、暗誦すること。暗誦した文はピンイン符号と漢字で書けるよう練習すること。	第10回	【授】 第五課「アルバイト」(2) 【前・後】 【予習復習に必要な時間: 2時間以上】予習をする際には先ずテキスト本文のCD録音を聞いて、音読をしてから意味を考えること。復習では音読を繰り返して内容を理解し、暗誦すること。暗誦した文はピンイン符号と漢字で書けるよう練習すること。
第3回	【授】 第二課「自己紹介」(1) 【前・後】 【予習復習に必要な時間: 2時間以上】予習をする際には先ずテキスト本文のCD録音を聞いて、音読をしてから意味を考えること。復習では音読を繰り返して内容を理解し、暗誦すること。暗誦した文はピンイン符号と漢字で書けるよう練習すること。	第11回	【授】 第六課「中国短期留学」(1) 【前・後】 【予習復習に必要な時間: 2時間以上】予習をする際には先ずテキスト本文のCD録音を聞いて、音読をしてから意味を考えること。復習では音読を繰り返して内容を理解し、暗誦すること。暗誦した文はピンイン符号と漢字で書けるよう練習すること。
第4回	【授】 第二課「自己紹介」(2) 【前・後】 【予習復習に必要な時間: 2時間以上】予習をする際には先ずテキスト本文のCD録音を聞いて、音読をしてから意味を考えること。復習では音読を繰り返して内容を理解し、暗誦すること。暗誦した文はピンイン符号と漢字で書けるよう練習すること。	第12回	【授】 第六課「中国短期留学」(2) 【前・後】 【予習復習に必要な時間: 2時間以上】予習をする際には先ずテキスト本文のCD録音を聞いて、音読をしてから意味を考えること。復習では音読を繰り返して内容を理解し、暗誦すること。暗誦した文はピンイン符号と漢字で書けるよう練習すること。
第5回	【授】 第三課「中国人留学生」(1) 【前・後】 【予習復習に必要な時間: 2時間以上】予習をする際には先ずテキスト本文のCD録音を聞いて、音読をしてから意味を考えること。復習では音読を繰り返して内容を理解し、暗誦すること。暗誦した文はピンイン符号と漢字で書けるよう練習すること。	第13回	【授】 第七課「中国人講師への手紙」(1) 【前・後】 【予習復習に必要な時間: 2時間以上】予習をする際には先ずテキスト本文のCD録音を聞いて、音読をしてから意味を考えること。復習では音読を繰り返して内容を理解し、暗誦すること。暗誦した文はピンイン符号と漢字で書けるよう練習すること。
第6回	【授】 第三課「中国人留学生」(2) 【前・後】 【予習復習に必要な時間: 2時間以上】予習をする際には先ずテキスト本文のCD録音を聞いて、音読をしてから意味を考えること。復習では音読を繰り返して内容を理解し、暗誦すること。暗誦した文はピンイン符号と漢字で書けるよう練習すること。	第14回	【授】 第七課「中国人講師への手紙」(2) 【前・後】 【予習復習に必要な時間: 2時間以上】予習をする際には先ずテキスト本文のCD録音を聞いて、音読をしてから意味を考えること。復習では音読を繰り返して内容を理解し、暗誦すること。暗誦した文はピンイン符号と漢字で書けるよう練習すること。
第7回	【授】 第四課「梅雨の季節」(1) 【前・後】 【予習復習に必要な時間: 2時間以上】予習をする際には先ずテキスト本文のCD録音を聞いて、音読をしてから意味を考えること。復習では音読を繰り返して内容を理解し、暗誦すること。暗誦した文はピンイン符号と漢字で書けるよう練習すること。	第15回	【授】 第八課「ギョーザを作る」 【前・後】 【予習復習に必要な時間: 2時間以上】予習をする際には先ずテキスト本文のCD録音を聞いて、音読をしてから意味を考えること。復習では音読を繰り返して内容を理解し、暗誦すること。暗誦した文はピンイン符号と漢字で書けるよう練習すること。
第8回	【授】 第四課「梅雨の季節」(2) 【前・後】 【予習復習に必要な時間: 2時間以上】予習をする際には先ずテキスト本文のCD録音を聞いて、音読をしてから意味を考えること。復習では音読を繰り返して内容を理解し、暗誦すること。暗誦した文はピンイン符号と漢字で書けるよう練習すること。	第16回	【授】 定期試験 【前・後】 主としてテキストの課文と練習問題から出題する。暗唱した内容についてピンイン符号や漢字での読み書きも練習しておくこと。

成績評価方法

【成績評価】出席率(20%)、小テスト・課題への取り組み(20%)、定期試験(60%)の結果を総合的に判断する。

【フィードバックの方法】小テスト・課題はチェックをしてから返却し、必要に応じて解説をする。

教科書・参考書

教科書：范建明 沈麗華 張仕英著「中国語デイリーライフ」朝日出版

参考書：講義中に紹介する。

受講に当たっての留意事項

予習をする際には先ずCD録音を聞きながら課文を音読し、意味をつかむこと。辞書をしらべても意味がはつきりしない時は、不明な部分を含む文を音読すること。それでもわからなければ、その前後文も音読すること。それでもわからなければ授業で解決する事。意味がわかつたら音読を繰り返して暗誦すること。暗誦できた内容についてはピンイン符号と漢字で書けるようにすること。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表等)の実施
○	公式通訳の経験を有する教員が中国語によるコミュニケーション能力獲得を主目的とした授業を行う。	×

学習到達目標

テキストの中国語文を日本語に訳して意味を解釈するだけでなく、音読を繰り返して中国語で内容を理解し暗誦できるようにしたい。暗誦できた文はピンイン符号と漢字で書けるようにしたい。さらに暗誦した内容について中国語による発表や質疑応答ができるようにしたい。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習